

ヘルパーワーキンググループ 議事録

平成 29 年 3 月 22 日（水）19 時～

デイサービス ふぁみりい

参加者：清村・篠原・赤木・越後・木村・伊藤・川野・渡邊

1. 上級編開催の振り返りと次年度に向けて

- ・3年かけて初級編・中級編・上級編を開催。
初級編・中級編は回数を重ねたため内容も確立しつつある。
- ・途中から参加対象を拡大したことが功を奏した。今後はデイ職員の参加増が見込めるのでは。
- ・今年度までに区内ヘルパー事業所のほぼ全てに研修会開催の周知をしているため、特に初級編は次年度以降のヘルパーの参加者の獲得が難しいことが考えられる。
- ・上級編は1回の開催のみなので、継続的な内容の精査が必要。
(好評だったが故に、時間設定や年間開催数などについて要検討)
- ・初級編は区外での開催を目指すべきでは？また、区外開催での参加費は¥1000円（区内の2倍）ではどうか。
- ・これまでの収入（参加費）や支出（講師料・消耗品費）などを鑑みると、今後は年間事業計画を立て、予算化するなど、このワーキンググループの継続のためには、先々の見通しをもった運営が必要ではないか。
- ・全ての関わりは各々の日常業務に支障がない範囲とすることを再確認。

2. 五島先生からの提案（ヘルパー向けの教科書の製本化）についての意見交換

- ・新食研本の頓挫を考えると、現実的な製本化は困難ではないか。
- ・『教科書』を出版するのであれば、専門家による確認が必要ではないか。
- ・本が売れない昨今、収益を見込むのは難しいのでは？
出版社や編集者などを介さず、自分達（出版の素人）で出来ることには限度があり、また、リスク（経済的な負債など）を伴う可能性が高い。
- ・仮に出版となったとしても、上級編の内容が詰まっていないので、執筆に至るには時間が必要。

<次回開催>

日時：平成 29 年 4 月 19 日（水）19 時～ デイサービスふぁみりい

議題：総会にて頂戴した意見を加味した上での 29 年度の運営および広報活動・周知方法について

文責：渡邊 真紀子